

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

—長期インターンシップ派遣—

平成 27 年度(第 3 期)募集要項



平成 27 年 10 月

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
次世代研究者育成プログラム

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>

1. プログラムの概要と長期インターンシップ派遣の趣旨

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムでは、理工農系、医療系、人文社会系の枠組みにとらわれず、若手研究者が異なる領域にも果敢に挑戦し、社会を変革する意識と情熱を持った人材を育てることを目指します。その一環として、若手研究者が実際の企業や社会の課題解決に貢献しつつ、実践的な能力の養成とキャリアオプションの拡大を図ることを目的として、長期インターンシップ派遣制度を設けています。

*イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムについては、(別紙 1)「未来を拓く地方協奏プラットフォーム 概要」を参照ください。

2. 長期インターンシップの募集対象

(代表実施機関) 広島大学、(共同実施機関) 山口大学、徳島大学、(連携機関) 岡山大学、島根大学、鳥取大学、愛媛大学、香川大学、高知大学、鳴門教育大学、県立広島大学、広島市立大学、広島国際大学、立命館大学に在籍中の博士課程(博士課程前期を除く。)の学生あるいは博士課程(博士課程前期を除く。)修了後 5 年程度以内の任期付研究者。

3. 長期インターンシップの募集人数

9 名程度 (うち若干名程度を女性優先枠とする。)

4. 長期インターンシップの内容

(1) 派遣先：国内外の民間企業、公的機関、非営利団体、国際機関、初等・中等教育開発機関

(2) 派遣期間：2 か月以上

(3) 実習内容：インターンシップにおける OJT のほか、事前研修、事後研修を行う。

(4) その他：広島大学及び連携機関にあつては広島大学の授業科目「長期インターンシップ」を履修する。

5. 応募方法

(1) 申請書提出前に事前相談を行いますので、下記(8. 問い合わせ先または9. 提出先)の連絡先にご連絡下さい。事前相談の際には、応募申請書(次項(2)①)をご持参下さい。

(2) 提出書類

- | | |
|----------------------|------|
| ① 応募申請書 | 1 部 |
| ② 指導教員の推薦書 | 1 部 |
| ③ 在籍証明書 | 1 部 |
| ④ 連携機関にあつては、所属機関の同意書 | 1 部) |

(3) 募集期間

平成 27 年 10 月 1 日(木) ～ 平成 28 年 1 月 29 日(金)

※選考は随時行います。

6. 選考方法

(1) 書類審査(必要に応じて口述選考)

(2) 選考結果発表

随時、選考結果を通知します。

7. 待遇

インターンシップ期間のみ雇用契約を結ぶ。

- (1) 給与（月額最大15万円）
- (2) 国内外派遣先への交通費等
- (3) インターンシップに関わる消耗品等

※連携機関在籍の者にあつては、広島大学研究員（パートタイム）として雇用する。

8. 問い合わせ先

「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」運営協議会事務局

〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学グローバルキャリアデザインセンター（若手研究人材養成担当）

Tel : 082-424-2058

E-mail: hiraku@hiroshima-u.ac.jp

9. 提出先

【広島大学または連携機関に在籍の方】

〒739-8514 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学グローバルキャリアデザインセンター（若手研究人材養成担当）

Tel : 082-424-4563

E-mail : wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

【山口大学に在籍の方】

〒755-8611 山口県宇部市常盤台二丁目16番1号

山口大学大学研究推進機構研究推進戦略部 URA 室 二階堂宛

Tel : 0836-85-9990

E-mail : mnikaido@yamaguchi-u.ac.jp

【徳島大学に在籍の方】

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町二丁目1番地

徳島大学研究支援・産官学連携センターリサーチ・アドミニストレーション部門

Tel : 088-656-9827

E-mail : hiraku@tokushima-u.ac.jp

長期インターンシップ派遣(平成 27 年度第 3 期)(DC 用)

応募申請書

履歴等

セイ 姓		メイ 名		所属 学年			
生年月日(西暦)	年	月	日生	性別	男・女	国籍	
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:						
学歴 ※大学卒業以降について詳細に記載する。 欄が足りない場合は追加する。	年	月	大学	学部	学科卒業		
	年	月	大学大学院				
	年	月	大学大学院				
	年	月					
言語	母国語			日常会話が 可能な言語			
語学に関する資格・点数(英検、TOEIC等)	年	月		留学生の場合、政府 派遣、国費、私費の別			
	年	月					
現在受給している 助成等の有無	有・無		具体的な助成等名(RA、TA、日本学術振興会特別研究員等)とその業務内容				
企業等との共同 研究の経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること)						
インターンシップ の経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること)						

1 インターンシップ派遣に対する抱負

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1,000字程度以内で記述すること。

- ① 志望動機、理由(インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか など)
- ② 希望する派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野(決まっている場合)とその理由
- ③ 派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ インターンシップ後のキャリアパスについて

2 これまでの研究概要

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点(アピールポイント)、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること(図表を含めてもよい)。

3 研究業績(参考)

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのものみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

長期インターンシップ派遣(平成27年度第3期)応募者に関する推薦書(DC用)

「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。

所属機関・専攻

職名・氏名

㊟

連絡先(電話・e-mail)

① 応募者との関係

② 応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力(着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど)について記入してください。

③ 応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。

※作成上の注意

推薦書は1ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

**長期インターンシップ派遣(平成 27 年度第 3 期) (PD 用)
応募申請書**

履歴等

セイ 姓		メイ 名		所属			
生年月日(西暦)		年 月 日生		性別	男・女	国籍	
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:						
学歴	年 月		大学	学部	学科卒業		
	年 月		大学大学院				
	年 月		大学大学院				
	年 月						
	※大学卒業以降について詳細に記載する。欄が足りない場合は追加する。						
	年 月		博士学位取得(見込み) (学位名称_____)				
言語	母国語		日常会話が可能 な言語				
語学に関する資格・点数(英検、TOEIC等)	年 月		留学生の場合、政府 派遣、国費、私費の別				
	年 月						
職歴	具体的な助成等名(RA、TA、日本学術振興会特別研究員等)とその業務内容						
企業等との共同研究の経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること)						
インターンシップの経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること)						

1 インターンシップ派遣に対する抱負

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に、1,000字程度以内で記述すること。

- ① 志望動機、理由(インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか など)
- ② 希望する派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野(決まっている場合)とその理由
- ③ 派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④ インターンシップ後のキャリアパスについて

2 これまでの研究概要

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点(アピール・ポイント)、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること(図表を含めてもよい)。

3 研究業績(参考)

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。

- (1) 学術雑誌等(紀要及び論文集等も含む。)に発表した論文及び著書(査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのものでのみ記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること)、題名、掲載誌名、巻号、pp 開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(既に掲載されているもののみを掲載すること。)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。)、著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。)、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)の国際学会における発表と同様に記載すること。)
- (5) 特許等(公開若しくは取得について明記すること。)
- (6) その他(受賞歴等)

長期インターンシップ派遣(平成27年度第3期)応募者に関する推薦書(PD用)

「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。

所属機関・専攻

職名・氏名

㊤

連絡先(電話・e-mail)

① 応募者との関係

② 応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力(着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど)について記入してください。

③ 応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。

※作成上の注意

推薦書は1ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

同意書

広島大学長 殿

(応募者の氏名)

_____の長期インターンシップ派遣において、下記のことに同意する。

記

1. 応募者が博士課程（博士課程前期を除く。）の学生である場合は、広島大学大学院共通授業科目「長期インターンシップ」を履修すること。
2. 所属大学の責任において、応募者が博士課程（博士課程前期を除く。）の学生である場合は、応募学生を学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険に加入させること。
3. 長期インターンシップ派遣において締結する「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムにおける長期インターンシップ派遣の実施に関する覚書及び実施要項について、広島大学及び受入機関と協議の上、締結すること。

以上

平成 年 月 日

住所
所属大学名
代表者

印